一般質問通告書

次の件について、会議規則第 60 条の規定により、一般質問の通告をいたします。(全体所要時間 60分)

令和 3 年 8月 30日 午前・午後

時

分 受付

広陵町議会議員 山田美津代 印

広陵町議会議長 吉村 裕之様	
質問の要旨(できるだけ具体的に)	答弁者
質問事項 1、コロナ禍から町民を守り抜くために独自の施策を。	町長&教育長
<内容>全国の感染者が増え県も町も毎日感染者が出てどこまで増え続けるの	
かと不安な毎日です。この通告書を書いてる時点で、重症者 2000 人、自宅療	
養者 11 万人超しています。全国的にすべての地域でこれまでに経験したことの	
無い感染拡大が継続していてこれからも感染者数が増加し、死者数も大きく増加	
することが懸念されています。	
8月20日に今井県議と町議員団で感染拡大への対応を10項目要望いたしま	
したが、このような状況の中でどう町民の命と暮らしを守るか検討されています	
か?	
テレビのワクチン接種状況発表で最下位だった広陵町も2回目接種から、下か	
ら4番目になりましたが、全国にワクチン接種が進んでいない町との汚名が知れ	
渡り、県外の方からもご心配の声を頂きました。その上 7 月 5 日にはワクチン	
の打ち手の確保ができていないなどの不始末が続き町民の不信も生まれていま	
す。	
この状況を打開するためにも町として PCR 検査や 抗原検査を積極的に行い	
町民の命を守るるべきではないでしょうか?ワクチンを 2 回打っても感染はし	
て無症状のまま出歩き感染させているケースが3.1%あると報道されています。	
子ども達への感染も心配です。それらの抜本的な解決方法はありませんがせめて	
検査体制をいち早く整えて、いつでも何回でも無料で検査を受けられるようにす	
る必要を認めるべきです。	
又自宅療養者の情報を自治体は個人情報の観点から掴めないため家族中感染	
していて食料など枯渇した場合など軽い症状の感染者がスーパーなどに買い出	
しに出てしまうなどの事が起きている。保健所からのきめ細かな対応が無理な	
今、こういうケースの感染者に対する体制を整える必要があるのではないか?	
次の項目を検討頂きたい。	
① 町内の検査体制を確立させ無症状の陽性者を見つけ保健所などの指示で	
療養者宿泊施設などに保護できる体制を整える。	
② 59 歳以下の若い町民へのワクチン接種は土日を予定されていると報告が	

ありましたが、いち早くワクチンを打っていただくことが必要。

そのため、三恵クリニックや畿央大学、医師会などあらゆる所への協力要請をする。

- ③ 子ども達への感染が心配される。家庭内感染が主と推察されているが、先生方への接種を急ぎ 12 歳未満の子どもたちへの検査や 12 歳以上の子どもたちへのワクチン接種も急ぐ。
- ④ 希望する自宅療養者への手厚い生活面でのきめ細かな支援ができるよう県と調整をする。

質問事項2、ゲノム編集トマトなどの流通は危険、給食には使用しないように。

町長&教育長

<内容>遺伝子操作の食物が研究開発され出回ってくると報道にありました。まだ安全性や環境への影響などの審査もないまま、この冬にも販売される予定です。国内で生産・販売されるゲノム編集食品の第1号が「高GABAトマト」です。血圧上昇を抑える成分がより多く含まれていると言いますが、契約農家が栽培し、収穫したトマトは企業が全部買取り「トマトピューレ」などの製品になり販売されます。日本政府は従来の突然変異と変わらないと安全性審査や環境影響評価を行いません。表示も義務化せず企業任せにしています。消費者は商品を選ぶことができません。

安全が確認されていない物を流通させるのは大変危険です。特に給食には絶対 使用させないでください

質問事項3、9月新学期が子ども達にとって自殺や不登校を引き起こす時期だと 懸念されています。この時期をどう安心安全に過ごせるようになるか手立てが必 要では?

教育長

<内容>広陵町では9月や4月の時期に事故など起きていませんか?不登校者数など示されていますが新学期に多い傾向はありますか?

事務報告書では新しく教育委員会の総括表が作成されましたが、気になることがあります。その中で学校支援室の評価が昨年同様Bでした。夏季教育相談の実施やスクールカウンセラーの派遣、心の相談室の開催、子どもと親の相談室など取り組まれた報告がありましたがこれらを含めた様々な教育相談の充実の総合評価がBだという事ですね。いじめや不登校など子どもたちの心の中はなかなか掴めません。それでも何かサインがあるはずです。保護者と連携を取り合って子どもたちの出すサインを見逃すことの無いよう研鑚を積んでいただきたいと思います。そして支援室評価をぜひ自己採点でも A になるように取り組んでいただきたい。